航空整備科(2年次)教育課程

2023(R5)年度用

航空整備科 二等航空整備士コース(飛行機タービン専攻)(2年次)教育課程(履修規程第2条別表)

		単位	授業	通年	半期	科目	集中	定期試験の	つ受験資格	必要修得
区分	科目	数	時数	科目	前期	後期	講義 科目	講義科目	実験又は 実習科目	時数
_	人 間 学 Ⅱ	1	20	\circ				0		
般 科	英 検 演 習 Ⅱ - 1	1	30		0			0		
目	航 空 技 術 英 語	4	60	0				\circ		
	航 空 法 規 等 Ⅱ	1	28		0			\circ		
	法 規 関 連	3	46			0		0		授業を履修
	航 空 力 学 Ⅱ	1	24		\circ			0		し、試験に合格した科
	機 体 Ⅱ	2	38		0			0		目(修得科目)の授業
専	発 動 機 Ⅱ	2	40		\circ			\circ		時数の合計
門科	電子装備品等Ⅱ	3	50		0			0		が930時数 以上である
I	基 本 実 習 Ⅱ	3	150	\circ					0	حے
	機 体 実 習 I	6	248	\circ					\circ	
	発 動 機 実 習 I	4	188	\circ					0	
	装 備 品 実 習 I	4	160	0					0	
	航空機の取扱いⅠ	3	138	0					0	
	計	38	1220							930以上

科 目 区 分 一般科目

学科・コース名	一版科目 航空整備科 二等航空整備士コース(飛行機タービン専攻) 開講時期 2年次 通年											
于作"3 八石	测量等	色)用1寸	一寸测工道	医畑 エコーノ	へ(川町11/1)	グ レク 号	- 久)	用再时别	2十	八		
授業科目名		人間学Ⅱ		担当教員名		就職キャリア支援センター ・ (1~3回)			•	学生支援課 (9回)		
授業形態	講義	授業時数	20	単位数		1	選択必修区分		必何	多		
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)		·リアデザイン ンョン、講演					美研究等の2	方法、考え方	等を請	毒義、 グループ		
到達目標 (150文字程度)		自分の強みを発見し、発信することができる。 仕事の価値観をつかみキャリアデザインの実現に生かす。										
	定期試験 その他の評価方法											
評価方法	筆記試験	レポート		ポート)%		lみ姿勢 :0%						
教員実務経験						_						
学生へのメッ セージ (150文字程度)	よう積極的また、自分	自分のキャリアデザインを実現するために自分と会社についてよく知り、自分にとって的確な会社選びができるよう積極的に取り組んでください。 また、自分の夢を実現させ幸せになるための具体的な行動を考え、実行する習慣が身に付いたかを振り返り、成長し続けてください。										
教科書	書名	人間学				書名						
	書名					書名						
参考書	書名					書名						
	書名					書名						

授業	計画 (各回ごとの)	項目と内容について) ※実施時期は適宜設定					
回=90分	項目	内容					
1**		ガイダンス1					
2 ※		ガイダンス2					
3 ※	キャリアデザイン	ガイダンス3					
4	ヤヤリア アリイン	(1)就職活動を成功させるために (2)自己分析					
5		(3)職種·業界研究 (4)履歴書·業界研究					
6		(5)企業採用試験 (6)履歴書確認					
7※	グループディスカッション	グループディスカッション					
8 ※	講演会など	部講師等による講演または学科教員による講義					
9 ※	コンプライアンス	コンプライアンスについて					
10※	奉仕活動	清掃活動など					

科 目 区 分 一般科目

	州又作 日											
学科・コース名	航空	整備科	二等航空團	整備 士コース	く(飛行機タービン	/専攻)	開講時期	2年次	前期			
授業科目名		演習 Ⅱ め・準2級・:		担当教員名	浅井 尚 (2級)	4	美年子 · 2級)	美年子 ・ セーヌ 尚子 級) (3級)				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	1	選択必修区分		必修				
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	英検合格は	こ必要な英詞	吾力の定着	のため、基础	準的な文法や語	彙の確認と過!	去問題で実践	浅演習をす	る。			
到達目標 (150文字程度)	リーディンクす。											
	7-77	試験			その	他の評価方法						
評価方法	筆記試験 100%	レポート										
教員実務経験	企業におい 企業におい	ける海外勤剤 ける英語サイ	務者への英 小、契約書	語指導、通 類、技術書	訳などの実務経り 類の翻訳などの3	検 ミ務経験						
学生へのメッ セージ (150文字程度)	就職活動、	就職先で対	さめられるビ	゛ジネス英語	力、知識を身に~	つける授業に即	対組んでくた	ごさい 。				
おり 事	書名	英検総合ト	レーニング		書名							
教科書	書名	英検過去6	回問題集		書名							
÷ +.+	書名				書名							
参考書	書名				書名							
L.												

授業	計 画 (各回ごとの)	項目と内容について)
回=90分	項目	内容
1	英検総合トレーニング	文法①、筆記1①、リスニング問題
2	光供応 ロトレーーング	文法②、筆記1②、リスニング問題
3	英検過去問	
4	英検総合トレーニング	文法③、筆記1③、リスニング問題
5	大阪心ローレ ーンフ	文法④、筆記2①、リスニング問題
6	英検過去問	
7	英検総合トレーニング	文法⑤、筆記2②、リスニング問題
8	大阪心日17 ニンノ	筆記3①、リスニング問題
9	英検過去問	
10	英検総合トレーニング	筆記3②、リスニング問題
11	大阪心日17 ニンノ	筆記4①、リスニング問題
12	英検過去問	筆記4②、リスニング問題
13	_	筆記4③、リスニング問題
14	英検総合トレーニング	筆記4④、リスニング問題
15		ミニテスト

科 目 区 分 一般科目

<u> 件 日 区 刀 </u>	71又1十日											
学科・コース名	航空	整備科	二等航空團	整備士コ-ス	(飛行機)	メービン専 ^ュ	文)	開講時期	2年次	通年		
授業科目名	舟 亢	空技術英	語	担当教員名			市原	敏朗				
授業形態	講義	授業時数	60	単位数		4	選択必修区分		必修			
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	解し、							を養うとともん 析英語の読角				
到達目標 (150文字程度)	を上げる。		ナンスマニ	ュアル構成	、英文の	表現と航空	機システムに	こついて習得	鼻しマニュア	アル読解力		
評価方法		定期試験 その他の評価方法 筆記試験 レポート 100%										
教員実務経験	定期航空道	重送事業会社	上での航空	機整備実務	経験							
学生へのメッ セージ (150文字程度)		ル読解の課題						売み込み技術 入れます。	5英語に 慣れ	れましょう。		
教科書	書名	新 これから	学ぶ航空機	整備英語マ	ニュアル	書名						
	書名書名					<u></u> 書名 書名						
参考書	書名					<u>音石</u> 書名						

授業	計 画 (各回ごとの	項目と内容について)
回=90分	項目	内容
1	1章 この本の構成	1-1 英文法について
2	1年 この本の構成	1-2 AMM IPCについて
3	2章 略語について	
4		3-1 まずは次の整備マニュアルを読んでみよう
5		3-2 文法用語を振り返ろう
6	3章 英文マニュアル	3-3 品詞について°もうすこし補足します
7	3章	3-4 英文の成り立ちを理解しよう
8		3-5 英文マニュアルでよく使われる主要構文
9		3-6 文意の拡張のルールについて理解しよう
10		3-7 数値表現を理解しよう
11		4-1 はじめに
12		4-2 手順書
13		4-2-1 BRAKEの点検手順
14	4章 AMMの読み方	4-2-2 ENGINE OIL QUANTITYの手順書
15	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4-3 不具合
16		4-3-1 CO-PI 側のDUがBLINKING DISPLAY UNITの交換
17		4-3-2 NO4 BRAKEのWEAR BRAKE UNITの交換
18		4-3-3 L ENGのOIL LEVELが若干LOW
19		5-1 IPCとは (Illustrated Parats Catalog :部品リスト)
20	5章 IPCの読み方	5-2 正しい部品を選択するために
21	0 11 C () [[[[()]]]	5-3 基本的なIPCの読み方
22		5-4 IPC NOMENCLATURE欄の頻出表現
23		6-1 MEL(Minimum Equipment List:運用許容基準)
24		6-2 CDL (Cofiguration Devication List:パネル等の構造部品欠落の許容基準)
25		6-3 航空日誌の書き方
	6章 その他	6-4 SQUAWK CARDの書き方(航空機の不具合処理記録)
27		6-5 SB (Service Bulletin)
28		6-6 AD (Airworthiness Directive:耐空性改善命令)
29		6-7 予備品証明相当外国書式
30	7章 付録	7-1 線や図形の表し方 7-2 図形の表し方 7-3 位置の表し方 7-4 方位の表し方

科 日 区 分	等門科目											
学科・コース名	航空	整備科	二等航空團	を備士コーン	ス(飛行機	・タービン	専攻)	開講時期	2年次	前期		
授業科目名	航	空法規等	П	担当教員名			田口	重信				
授業形態	講義	授業時数	28	単位数		1	選択必修区分		必修			
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)		者として、知・ 役知識」につ			ない航空	こ関する「[国際条約、国	国内法及び)	人間の能力	の限界に		
到達目標 (150文字程度)	整備士資	整備士資格取得に必要な基礎知識を習得する。										
	, -, ,	試験				その他の	の評価方法					
評価方法	筆記試験 100%	レポート				;	なし					
教員実務経験												
学生へのメッ セージ (150文字程度)	航空法規	等Iに基づ	き、学科試験	験合格のた?	めの授業	を行うので、	、復習を欠か	いさないでく	ださい。			
教科書	書名	航空法規(整備士用扱	対料)		書名	ヒューマン	ファクターの	基礎			
教代音	書名	航空機の基	本技術			書名	航空法規等	穿(整備士用)演習問題	集		
参考書	書名	航空6法				書名	サーキュラ	_				
少 与音	書名	耐空性審查	正要領			書名						

授業	授業計画 (各回ごとの項目と内容について)									
回=90分	項目	内容								
1~14	レビュー	1. 国内法全般のレビュー 2. 人間の能力と限界に関する一般知識全般のレビュー								

_ 科 日 区 分	- 専門科日											
学科・コース名	航空	整備科	二等航空團	を備士コーン	ヾ(飛行機	タービン専	(攻)	開講時期	2年次	後期		
授業科目名		法規関連		担当教員名	清水 岳志							
授業形態	講義	授業時数	46	単位数		3	選択必修区分		必修			
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空法及	び航空法関	連法の実務	的運用の知	口識を習得	手する。						
到達目標 (150文字程度)	二等航空	工等航空整備士(飛行機)の資格取得に必要な基礎知識を習得する。										
	, -, ,	試験				その他の	の評価方法					
評価方法	筆記試験 100%	レポート										
教員実務経験	航空機運	航会社におい	ハて航空機	整備の実務	経験							
学生へのメッ セージ (150文字程度)	1年次で学していてく		の知識を^	 ベースにして	運用の仕	:方を学ぶ7	ため、学科話	 大験合格後も	内容をまと	めて理解		
教科書	書名	航空機の基	基本技術			書名						
教代音	書名	法規関連	サブテキス	<u> </u>		書名						
参考書	書名	航空機検査	正業務 サー	ーキュラー集		書名						
少 与官	書名	航空法規集	1			書名						

授業	計画 (各回ごとの)	項目と内容について)								
回=90分	項目	内容								
1	1. 航空法	1.航空関連法規2.航空法3.航空法の基本的理念4.航空法の内容								
2	1. 加全仏	航空法体系6.国土交通省告示及びサーキュラー7.製造者のマニュアル								
3	2. 航空機の整備作業 に関係する法規	電波法2.高圧ガス保安法3.航空機製造事業法								
4	3. 航空機の登録	1.航空機の登録2.航空機登録原簿への記載事項3.国籍及び登録記号の打刻								
5	3. 机全機// 全郵	4.識別板の取り付け5.国籍及び登録記号の表示								
6		1.耐空証明								
7		2.耐空証明検査3.耐空検査員								
8		4.耐空証明検査時に必要な書類及び手続き要領								
9		生調生証労快重時に必要な音頻及いす税で要原								
10	4. 耐空証明	5.耐空証明の有効期間6.運用限界等指定書								
11		7.飛行規程の記載事項								
12		8.整備改造命令、耐空証明の効力の停止								
13		9.耐空性改善通報								
14		10.試験飛行等の許可11.輸出耐空証明書								
15	まとめ	進捗度確認(2時数)No1								
16	5. 型式証明6. 追加型 式証明	1.型式証明1.追加型式設計の承認2.同等追加型式設計の承認								
17	7. 修理改造検査	1.修理改造検査2.修理又は改造について								
18	1. 形坯以迫快宜	3.修理改造検査の対象範囲4.検査								
19		1.予備品証明								
20	8. 予備品証明	2.予備品証明の検査3.予備品証明を受けたとみなす装備品								
21	O・ 1 小田 ロロロエウ1	4.予備品証明の失効5.装備品再使用の注意、装備品等の貸借								
22		6.型式承認及び仕様承認7.安全証明書及び適合証明書								
23	まとめ	進捗度確認(2時数)No2								

件 日 色 刀	中门村日											
学科・コース名	航空	整備科	二等航空團	を備士コーン	ス(飛行機/	タービン専	(攻)	開講時期	2年次	前期		
授業科目名	舟	航空力学]	П	担当教員名		佐川 次男						
授業形態	講義	授業時数	24	単位数	-	1	選択必修区分		必修			
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	4 / 4	整備士(飛行 戦を習得する		必要な流体	力学の基础	楚、航空機	の飛行原理	および空力	特性等の船	抗空力学		
到達目標 (150文字程度)	二等航空	二等航空整備士(飛行機)の資格取得に必要な基礎知識を習得する。										
	7 - 7 7	試験				その他の	の評価方法					
評価方法	筆記試験 100%	レポート				7	なし					
教員実務経験	定期運送網	抗空会社に	於いて航空	機整備の実	務経験。							
学生へのメッ セージ (150文字程度)		空を飛ぶ大ス 学の知識を目				種々の構	造機能は航	空機特有の	部分がある	ことを踏ま		
****\ 	書名 航空工学講座 1 航空力学 書名 書名											
教科書	書名書名書名											
参考書	書名					書名						
<u> </u>	書名					書名						

授業	計画 (各回ごとの)	項目と内容について)
回=90分	項目	内容
1		1. 重量及び重心位置
2	1. 重量及び搭載	2. 航空機の重量(1)重量の定義(2)重量の区分
3	1. 里里及UT合戦	3. 航空機の重心(1)重心位置の移動許容限界(2)重心位置の表示(3)重心位置の算出
4		復習・小テスト
5	まとめ	進捗度確認(2時数)No1(高速航空力学含む)
6		1. 航空力学の基礎2. 翼と翼型
7	2. 飛行機の航空力学	3. 揚力と抗力4. 安定性
8	2. 1611 1效(/加)1 至 / 1 子	5. 舵面と操縦性6. 性能
9]	7. 高速空気力学8. 重量及び搭載
10		1. 航空力学全般のレビュー(1)
11	3. レビュー	2. 航空力学全般のレビュー(2)
12		3. 航空力学全般のレビュー(3)

科日区分	専門科目										1
学科・コース名	航空	整備科	二等	航空	整備 士コース	ス(飛行機)	タービン専	(攻)	開講時期	2年次	前期
授業科目名		機体	П		担当教員名			市原	敏朗		
授業形態	講義	授業時	数 3	38	単位数		2	選択必修区分		必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)					受従事者(学 実な理解と応			子を目標とし船)。	抗空機材料	•航空機構這	告•航空機
到達目標 (150文字程度)	二等航空	二等航空整備士(飛行機)の航空従事者(学科)国家試験の合格									
	7 - 7 7	定期試験その他の評価方法									
評価方法	筆記試験 100%	レポー	<u> </u>								
教員実務経験	定期航空	会社にて	航空機動	整備の	実務経験						
学生へのメッ セージ (150文字程度)	二等航空整備士(飛行機)の航空従事者(学科)国家試験の合格を目標とし航空機材料・航空機構造・航空機 システムで学んだ基礎事項の復習と理解を深めて下さい。										
教科書	書名	航空工作	学講座2	飛行	機構造		書名	航空工学請	構座4 航空標	幾材料	_
(X)行官	書名	航空工作	学講座3	航空	機システム		書名	航空機の基	基本技術		
参考書	書名						書名				
少 与官	書名			•			書名				

授業	計画 (各回ごとの)	項目と内容について)
回=90分		内容
1	1. 飛行機に加わる荷	1. 水平直線飛行時の荷重 2. 荷重倍数 3. 水平尾翼と補助翼の荷重
	重	4. 地上荷重 5. エンジンによる荷重 6. 安全率
3		1. 基本構造の種類 2. 胴体
4	2. 飛行機の機体構造	3. 窓、ドア及び座席 4. 主翼
5		5. 尾翼 6. 動翼
6	3. 着陸系統	1. 着陸装置の種類 2. 脚引込装置
7	3. 日	3. 前輪式及び尾輪式 4. 主脚
8		1. 人力操縦装置 2. 動力操縦装置
	4. 操縦系統	3. 主操縦系統
10		4. 補助操縦系統
11		1. 機械材料学要項
12	5. 機械工学要項	2. 航空機材料 3. 材料力学
13	o. 121/12 1 2 7	4. 機構学要項
14		5. 非破壞検査
	6. 燃料系統	1. 燃料系統の機能と構成
_	7. 油圧系統	1. 油圧回路及び系統部品
17		1. ニューマチック系統 2. エアコンディショニング系統
	8. その他の系統	3. 防除氷系統 4. 防火系統 5. 酸素系統
19		6. 給•排水系統 7. 補助動力装置

学科・コース名	航空整備科	二等航空刺	き借 十コープ	7 (巫/异/ 以 力 一	185 AH	ナム \	開講時期	- L-1/	
		****	工等航空整備士コース(飛行機タービン専攻) エーロー 「					2年次	前期
授業科目名	発動機I	I	担当教員名			林	勇輝		
授業形態 講	構義 授業時数	40	単位数	2		選択必修区分		必修	
	動機 I 」で習得し タービン・エンジ							士(飛行機)として必
到達目標 (150文字程度) 二等	二等航空整備士(飛行機)の資格取得に必要な知識を習得する。								
	定期試験				その他の	O評価方法			
計価方法	P試験 レポート 00%				Ź	なし			
教員実務経験 定期	航空運送事業会	:社における	タービン発動	動機整備の実	務経験	Ĭ			
学生へのメッ セージ (150文字程度)	航空機整備に関わる専門知識であり、新しく知り得た知識は必ず復習をして自分のものにしてください。								
教科書	書名 航空工学	講座7 ター1	ビン・エンジ	ン					
秋/17音 書	書名 航空工学	講座6 プロ	ペラ	ŧ					
参考書	書名			Ī					
	書名	· ·	· ·						•

長業計画 (各国ごとの項目と内容について) 内容	运 柴	卦 両 (久同ごしの)	項目 b 内容について)
1. 航空エンジンの概念 1. 航空エンジンの貝編条件 2. 航空エンジンの分類 2. 各種形式の特徴 3. ターピン・エンジンの概要 1. 振空ルンジンの分類 2. 各種形式の特徴 3. ターピン・エンジンの概要 2. ターピン・エンジンの分類と特徴 3. 最新の民間航空エンジンの発達の推移 4 メーセン・エンジンを数字 2. 空気力学 3. 単位 5. ターピン・エンジン 6. ターピン・エンジン 6. ターピン・エンジンの一般特性 6. エンジンのステーション表示 7. 減格離除権力 8. 推力増強法 9. エンジンを料時間とエンジン・サイクル 1. 基本構造一般 1. 基本構造一般 1. 基本構造一般 2. エア・インレット 3. ファンおよびコンブレッサ 4. 無廃室 5. ターピン・エンジン 6. ターピン・エンジン 6. 非気系統 7. アクセナリ・ドライブ 又はアクセナリ・ギア・ボックス 1. エンジン権利料系統 2. ターピン・エンジン・オイル一般 2. ターピン・エンジン・オイルー般 2. ターピン・エンジン・オイルー般 1. エンジン権利料系統 3. エンジン・オイル・システム 1. エンジン権利系統 2. 点火系統 3. エンジン・タスス 1. エンジン権利系統 5. エンジン・オイル・システム 1. エンジン権制系統 5. エンジン・オイル・システム 1. エンジン権制系統 5. エンジン・指示系統 6. エンジン・オイル・システム 1. エンジン権制系統 5. エンジン・指示系統 6. エンジン・オイル・システム 1. エンジン権制系統 5. エンジン・オール・システム 1. エンジン権制系統 5. エンジン・オール・システム 1. エンジン権制系統 5. エンジン・オールの概要 3. ターピン・エンジン・材料の特異現象 4. 節品製造および修理加工技術 10. エンジンの試運転 1. 中央・エンジン権制の総定象 3. 始新 4. エンジン材料の機変 3. ターピン・エンジン材料の特異現象 4. 節品製造および修理加工技術 11. エンジンの試運転 1. 中央・エンジン権制の能定象 3. が新 4. エンジン・オール・ウステム 1. エンジンの試運転 1. 中央・エンジン・オール・フェーン・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・		I	
2	回=90分	2111	
3. ターピン・エンジンの概要 2. ターピンエンジンの分類と特徴 3. 最新の民間航空エンジンの発達の推移 4. テーピンエンジンの概要 2. ターピンエンジンの分類と特徴 3. 最新の民間航空エンジンの発達の推移 4. テーピンエンジンの動産 2. ターピンエンジンの分類と特徴 3. 最新の民間航空エンジンの発達の推移 5. ターピン・エンジン 2. 推力・輸出力設定のパラメータ3. 出力に影響を及ぼす外的要因 4. ターピン・エンジンの効率 5. ターピン・エンジンの一般特性 6. エンジン使用時間とエンジン・サイクル 5. ターピン・エンジン 6. ターピン・エンジン 7. ターピン・エンジン 7. ターピン・エンジン 8. 本構造一般 1. 基本構造一般 1. 基本構造一般 2. エア・インレット 3. ファンおよびコンプレッサ 4. 燃焼室 5. ターピン・ボックス 7. ターピル・エンジン・オイルー般 1. ジェッル燃料 7. ターピン・エンジン・オイルー般 2. ターピン・エンジン・オイルー般 1. エンジン燃料系統 2. 点火系統 3. エンジン・オイルー般 1. エンジン燃料系統 5. エンジン・オイル・システム 7. エンジン・燃料系統 5. エンジン・指示系統 6. エンジン・オイル・システム 7. エンジン・対射側系統 5. エンジン・指示系統 6. エンジン・オイル・システム 7. エンジン・対射側系統 5. エンジン・指手系統 6. エンジン・オイル・システム 7. エンジン・対対 1. ターピン・エンジン・オイル・システム 7. エンジン・対対 1. ターピン・エンジン・オイル・システム 7. エンジン・対対 1. ターピン・エンジン・オイル・システム 7. エンジンの計画能 1. フーピ・エンジン・対対 6. ETOIS 11. 議算 2. 排出規制 11. エンジンの挑監選手話 1. フライ・デーケ・モニタリン 2. ボア・スローブ 6. 東京 2. 平 1. 展示 5. 手は 1. 展音 2. 排出規制 1. アーペーラー・エーター・エンジン・オイルの分光分所検室 5. エンジン整備方式 6. ETOIS 18 日 19 11. エンジンの挑監選手話 1. フライ・デーケ・モニタリン 2. ボア・スローブ 6. 第 3. マグネテック・チッグ・デテクタ 4. エンジン・オイルの分光分所検室 5. エンジン整備方式 6. ETOIS 18 日 19 11. エンジン・個分式 6. ETOIS 18 日 11. エンジン・関係 7. と振動 6. ETOIS 18 日 11. エンジン・関係 7. と振動 7. アーペーラの基礎 2. プロペラの基礎 2. プロペラの基礎 2. プロペラの基礎 2. プロペラの観報 4. プロペラ制御装置			7.00
2 タービン・エンジンの概要 2. タービンエンジンの分類と特徴 3. 最新の民間航空エンジンの発達の推移 4 タービン・エンジン 1. 熱力学 5. タービン・エンジン 0 出力 5. タービン・エンジン 0 出力 5. タービン・エンジン 0 出力 5. タービン・エンジン 0 基本構成要素 9 1. 基本構造一般 1. 基本構造一般 2. エア・インレット 3. ファンおよびコンブレッサ 3. アン・およびコンブレッサ 3. アン・およびコンブレッサ 3. アン・およびコンブレッサ 3. アン・およびコンブレッサ 4. 燃焼室 5. タービン・エンジン 6. タービン・エンジン 0 基本構成要素 10 1. 基本構造一般 2. エア・インレット 3. ファンおよびコンブレッサ 3. ファンおよびコンブレッサ 4. 燃焼室 5. タービン・エンジン・オイルー般 1. ジェット燃料ー般 2. タービン・エンジン・オイルー般 1. エンジン燃料系統 3. エンジン・オイルー般 1. エンジン・オイルー般 1. エンジン・オイルー般 1. エンジン・対対 4. メニュー・エンジン・オイル・システム 1. エンジン・対対・対 4. エンジン・オイル・システム 1. エンジン・対対・対 4. エンジン・対対・対 5. タービン・エンジン・オイル・システム 1. エンジン・対対・対 6. エンジン・オイル・システム 1. エンジン・対対・対 6. エンジン・対対・対の概要 3. タービン・エンジン・対対・対策 4. エンジン・対対・対策 5. エンジン・対対・対策 6. エンジン・オイル・システム 1. エンジン・対対・対策 6. エンジン・対対・の対策 8. ネーエンジン・オイル・の分乗が検査 5. エンジン・生体定数 1. エンジン・対対・の対策 8. ネーエンジン・オイル・の分乗が接着 5. エンジン・生体定数域 1. エンジンの状態監視手法 1. ファー・エー・クー・エンジン・オイルの分乗が検査 5. エンジン・生体定数域 1. エンジンの対策を関手が 6. ETOPS 1. 騒音 2. 非出規制 1. エンジンの法を設備 2. ブロペラの基礎 2. ブロペラの基礎 2. ブロペラの基礎 2. ブロペラの種類 4. ブロペラ制御装置	1		77.7
4			
4 タービン・エンジン	2		
1. 推力と輸出力 2. 推力・輸出力設定のパラメータ3. 出力に影響を及ぼす外的要因 4. タービン・エンジンの効率 5. タービン・エンジンの一般特性 5. タービン・エンジンの一般特性 5. タービン・エンジンの一般特性 5. タービン・エンジンの一般特性 5. タービン・エンジンの一般特性 6. エンジンのステーション表示 7. 減格離陸推力 8. 推力増強法 9. エンジン使用時間とエンジン・サイクル 1. 基本構造一般 1. 基本構造一般 1. 基本構造一般 2. エア・インレット 3. ファンおよびコンプレッサ 3. ファンおよびコンプレッサ 4. 燃焼室 5. タービン・エンジン 6. 排気系統 6. 排気系統 6. 排気系統 7. アクセサリ・ドライブ又はアクセサリ・ギア・ボックス 7. タービン・埋かり 1. ジェット燃料系統 1. ジェット燃料系統 1. エンジン・オイル一般 1. エンジン・燃料系統 2. 点人系統 3. エンジン・タス系統 4. エンジン制御系統 4. エンジン制御系統 1. エンジン・財子・ボックス 7. エンジン・カイルー般 1. エンジン・財子・ボックス 1. エンジン・オイルー般 1. エンジン・対対科 1. タービン・エンジン オイルー般 1. エンジン・カイル・システム 7. エンジン・対対科 1. タービン・エンジン・オイル・システム 7. エンジン・対対科 1. タービン・エンジン・オイル・システム 7. エンジン・対対科 1. タービン・エンジン・オイル・システム 7. エンジン・対対科 1. タービン・エンジン・オイル・システム 7. エンジン・対対科の概要 3. タービン・エンジン・対科の特異現象 4. 部品製造および修理加工技術 10. エンジンの試運転 1. タービン・エンジン静井がの機変 3. が動 4. アバル運転時の点検 5. 種協出力点検 6. エンジン・オイルの分光分析検査 5. エンジン性能対象 11. エンジンの試運転 1. 服育 2. 排出規制 1. プロペラの基礎 2. プロペラの種類 4. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置			
 4 5. タービン・エンジン の出力	3		
5 の出力 5. タービン・エンジンの一般特性 6. エンジンのステーション表示 7. 減格離陸権力 8. 推力増強法 9. エンジン使用時間とエンジン・サイクル 1. 基本構造一般 1. 基本構造一般 1. 基本構造一般 1. 基本構造一般 1. 基本構造一般 2. エア・インレット 3. ファンおよびコンブレッサ 3. ファンおよびコンブレッサ 3. ファンおよびコンブレッサ 3. ファンおよびコンブレッサ 3. ファンおよびコンブレッサ 4. 燃焼室 5. タービン 6. 排気系統 6. 排気系統 6. 排気系統 6. 排気系統 6. 排気系統 6. 排気系統 7. アクセサリ・ドライブ又はアクセサリ・ギア・ボックス 1. ジェット燃料一般 2. タービン・エンジン・オイル一般 1. エンジン燃料系統 1. エンジン燃料系統 1. エンジン燃料系統 1. エンジン燃料系統 2. 点火系統 3. エンジン空気系統 4. エンジン制御系統 4. エンジン制御系統 4. エンジン制御系統 6. エンジンが料料の検索 3. タービン・エンジン材料の特異現象 4. 部品製造および修理加工技術 1. タービン・エンジン材料 1. タービン・エンジン材料 1. タービン・エンジン材料 1. タービン・エンジン材料の機変 3. タービン・エンジン材料の特異現象 4. 部品製造および修理加工技術 1. エンジンの状態監視手法 1. フライ・データ・モニタリング 2. ボア・スコーブ点検 3. マグネチック・チッグ・デテクタ 4. エンジン・オイルの分光分析検査 5. エンジン整備方式 6. ETOPS 12. 環境対策 1. 騒音 2. 排出規制 1. ブロペラの基礎 2. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置			1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-
1			
1. 基本構造一般	5	の出力	
1. 基本構造一般	6		
8			
1. 基本構造一般 2. エア・インレット 3. ファンおよびコンプレッサ 3. ファンおよびコンプレッサ 3. ファンおよびコンプレッサ 4. 燃焼室 5. タービン 6. 排気系統 6. 排気系統 7. アクセサリ・ドライブ又はアクセサリ・ギア・ボックス 7. タービン・用燃料およびエンジン・オイル 2. タービン・エンジン・オイル一般 1. ジェット燃料 一般 2. タービン・エンジン・オイル一般 1. エンジン燃料系統 2. 点火系統 3. エンジン空気系統 4. エンジン制御系統 4. エンジン開御系統 4. エンジンが動系統 9. タービン・エンジン材料 1. タービン・エンジンが対料一般 2. 代表的タービン・エンジン材料の概要 3. タービン・エンジン材料の特異現象 4. 部品製造および修理加工技術 10. エンジンの試運転 1. 一般 2. エンジン静止状態の機能点検 3. 始動 4. アイドル運転時の点検 5. 雕陸出力点検 6. エンジン停止 7. 異常状態発生時の操作 8. エンジン性能試験 11. エンジンの状態監視手法 1. フライト・データ・モクリング 2. ボア・スコーブ点検 3. マグネチック・チップ・デラクタ 4. エンジン・オイルの分光分析検査 5. エンジン整備方式 6. ETOPS 17. 環境対策 1. 服音 2. 排出規制 1. プロペラの基礎 2. プロペラの基礎 2. プロペラの基礎 2. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置	-		
10 10 1. ジェット燃料→は「ロエンジン・オイル 1. ジェット燃料→般 2. タービン・エンジン・オイルー般 1. エンジン燃料系統 1. エンジン燃料系統 1. エンジン燃料系統 1. エンジン燃料系統 1. エンジン燃料系統 1. エンジンが対料 1. エンジン燃料系統 1. エンジンが対料の含素統 1. エンジンが対料の多素統 1. エンジンが対料の多素統 1. エンジンが対料の表統 1. エンジンが対料の表述 1. アービン・エンジンが対料の表述 1. アービン・エンジンが対料の表述 1. アービン・エンジンが対料の表述 1. エンジンが対料の表述 1. エンジンの計画版 1. 一般 2. エンジン静止状態の機能点験 3. 始動 4. アイドル運転時の点験 5. 運輸出力点後 6. エンジン・オイルの分光分析検査 5. エンジン整備方式 6. ETOPS 1. 騒音 2. 排出規制 1. プロペラの基礎 1. プロペラの基礎 2. プロペラの基礎 2. プロペラの基礎 2. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置 1. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置	8		
10	9		3. ファンおよびコンプレッサ 4. 燃焼室 5. タービン 6. 排気系統
1. ジェット燃料・般 2. タービン・エンジン・オイル一般 1. ジェット燃料・般 2. タービン・エンジン・オイル一般 1. エンジン燃料系統 1. エンジン燃料系統 1. エンジン燃料系統 1. エンジン増削系統 5. エンジン空気系統 4. エンジン制御系統 4. エンジン制御系統 5. エンジン指示系統 6. エンジン・オイル・システム 7. エンジン対動系統 9. タービン・エンジン材料 1. タービン・エンジン材料一般 2. 代表的タービン・エンジン材料の概要 3. タービン・エンジン材料の特異現象 4. 部品製造および修理加工技術 15 10. エンジンの試運転 1. 一般 2. エンジン材料一般 2. 代表的タービン・エンジン材料の概要 3. タービン・エンジン材料の特異現象 4. 部品製造および修理加工技術 16 11. エンジンの試運転 1. 一般 2. エンジン静止状態の機能点検 3. 始動 4. アイドル運転時の点検 5. 離陸出力点検 6. エンジン・オイルの分光分析検査 5. エンジン整備方式 6. ETOPS 12. 環境対策 1. 騒音 2. 排出規制 13. プロペラ 13. プロペラの基礎 2. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置	10		6. 排気系統 7. アクセサリ・ドライブ又はアクセサリ・ギア・ボックス
11 1. エンジン燃料系統 12 8. タービン・エンジン 13 の各種系統 14 1. エンジン燃料系統 14 7. エンジン制御系統 14 9. タービン・エンジン材料 1. タービン・エンジン材料 1. タービン・エンジン材料一般 15 10. エンジンの試運転 1. 一般 2. エンジン静止状態の機能点検 3. 始動 4. アイドル運転時の点検 5. 確陸出力点検 6. エンジン停止 7. 異常状態発生時の操作 8. エンジン性能試験 16 12. 環境対策 1. 騒音 2. 排出規制 17 1. 別令ラの基礎 2. プロペラに働く力と振動 3. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置	10	7. タービン用燃料およびエンジン・オイル	1. ジェット燃料一般 2. タービン・エンジン・オイル一般
1. エンジン燃料系統	11	7. タービン用燃料およびエンジン・オイル	2. タービン・エンジン・オイル一般
13 の各種系統 4. エンジン制御系統 5. エンジン指示系統 6. エンジン・オイル・システム 14 7. エンジン始動系統 9. タービン・エンジン材料 1. タービン・エンジン材料一般 2. 代表的タービン・エンジン材料の概要 3. タービン・エンジン材料の特異現象 4. 部品製造および修理加工技術 15 10. エンジンの試運転 1. 一般 2. エンジン静止状態の機能点検 3. 始動 4. アイドル運転時の点検 5. 雕陸出力点検 6. エンジン停止 7. 異常状態発生時の操作 8. エンジン性能試験 16 11. エンジンの状態監視手法 1. フライト・データ・モニタリング 2. ボア・スコープ点検 3. マグネチック・チップ・デテクタ 4. エンジン・オイルの分光分析検査 5. エンジン整備方式 6. ETOPS 12. 環境対策 1. 騒音 2. 排出規制 17 1. プロペラの基礎 18 2. プロペラに働く力と振動 19 3. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置	11		78-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11
14 7. エンジン始動系統 9. タービン・エンジン材料 1. タービン・エンジン材料一般 2. 代表的タービン・エンジン材料の概要 3. タービン・エンジン材料の特異現象 4. 部品製造および修理加工技術 15 10. エンジンの試運転 1. 一般 2. エンジン静止状態の機能点検 3. 始動 4. アイドル運転時の点検 5. 雕陸出力点検 6. エンジン停止 7. 異常状態発生時の操作 8. エンジン性能試験 16 11. エンジンの状態監視手法 1. フライト・データ・モニタリング 2. ボア・スコープ点検 3. マグネチック・チップ・デテクタ 4. エンジン・オイルの分光分析検査 5. エンジン整備方式 6. ETOPS 12. 環境対策 1. 騒音 2. 排出規制 1. プロペラの基礎 13. プロペラ 2. プロペラに働く力と振動 19 3. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置	12	8. タービン・エンジン	1. エンジン燃料系統 2. 点火系統 3. エンジン空気系統 4. エンジン制御系統
14 9. タービン・エンジン材料 1. タービン・エンジン材料一般 2. 代表的タービン・エンジン材料の概要 3. タービン・エンジン材料の特異現象 4. 部品製造および修理加工技術 15 10. エンジンの試運転 1. 一般 2. エンジン静止状態の機能点検 3. 始動 4. アパル運転時の点検 5. 雕陸出力点検 6. エンジン停止 7. 異常状態発生時の操作 8. エンジン性能試験 16 11. エンジンの状態監視手法 1. フライ・データ・モニタリング 2. ボア・スコープ点検 3. マグネチック・チップ・デテクタ 4. エンジン・オイルの分光分析検査 5. エンジン整備方式 6. ETOPS 12. 環境対策 1. 騒音 2. 排出規制 1. プロペラの基礎 2. プロペラに働く力と振動 3. プロペラに働く力と振動 3. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置	13	の各種系統	4. エンジン制御系統 5. エンジン指示系統 6. エンジン・オイル・システム
9. タービン・エンジン材料 1. タービン・エンジン材料の般要 3. タービン・エンジン材料の特異現象 4. 部品製造および修理加工技術 15 10. エンジンの試運転 1. 一般 2. エンジン静止状態の機能点検 3. 始動 4. アイドル運転時の点検 5. 雕陸出力点検 6. エンジン停止 7. 異常状態発生時の操作 8. エンジン性能試験 16 11. エンジンの状態監視手法 1. フライト・データ・モニタリング 2. ボア・スコープ点検 3. マグネチック・チップ・デテクタ 4. エンジン・オイルの分光分析検査 5. エンジン整備方式 6. ETOPS 12. 環境対策 1. 騒音 2. 排出規制 17 18 13. プロペラ 2. プロペラの基礎 2. プロペラに働く力と振動 3. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置	1.4		7. エンジン始動系統
16 11. エンジンの状態監視手法 1. フライ・データ・モニタリング 2. ボア・スコーブ点検 3. マグネチック・チップ・デテクタ 4. エンジン・オイルの分光分析検査 5. エンジン整備方式 6. ETOPS 12. 環境対策 1. 騒音 2. 排出規制 17 1. プロペラの基礎 18 2. プロペラに働く力と振動 19 3. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置	14	9. タービン・エンジン材料	1. タービン・エンジン材料一般 2. 代表的タービン・エンジン材料の概要 3. タービン・エンジン材料の特異現象 4. 部品製造および修理加工技術
16 12. 環境対策 1. 騒音 2. 排出規制 17 18 13. プロペラ 19 2. プロペラに働く力と振動 3. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置	15	10. エンジンの試運転	1. 一般 2. エンジン静止状態の機能点検 3. 始動 4. アイドル運転時の点検 5. 離陸出力点検 6. エンジン停止 7. 異常状態発生時の操作 8. エンジン性能試験
12. 環境対策 1. 騒音 2. 排出規制 17 1. プロペラの基礎 18 2. プロペラに働く力と振動 19 3. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置	16	11. エンジンの状態監視手法	1. フライト・データ・モニタリング 2. ボア・スコープ点検 3. マグネチック・チップ・デテクタ 4. エンジン・オイルの分光分析検査 5. エンジン整備方式 6. ETOPS
18 13. プロペラ 19 2. プロペラに働く力と振動 3. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置	10	12. 環境対策	1. 騒音 2. 排出規制
13. プロペラ 19 3. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置	17	10	1. プロペラの基礎
19 3. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置	18		2. プロペラに働く力と振動
20 5. 実用プロペラ 6. プロペラの付属品および指示系統 7. プロペラの整備	19	10. / 4	3. プロペラの種類 4. プロペラ制御装置
	20	1	5. 実用プロペラ 6. プロペラの付属品および指示系統 7. プロペラの整備

科日区分	导门科目						1		ı	1
学科・コース名	航空	整備科	二等航空團	修備士(飛行	「機タービ	ン専攻)		開講時期	2年次	前期
授業科目名	電子	一装備品等	ΞΠ	担当教員名		武藤。				
授業形態	講義	授業時数	50	単位数		3	選択必修区分		必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)		習と二等航 と実施する。	空整備士(飛行機)とし	て必要な	基礎知識の	の確立と学利	斗試験に必	要な知識の	習得を目
到達目標 (150文字程度)	二等航空整備士(飛行機)の資格取得に必要な基礎知識を習得する。									
	7 - 7 7	試験				その他の	の評価方法			
評価方法	筆記試験 100%	レポート								
教員実務経験	航空機輸	入販売会社	において航	空機用無緣	機器整備	の実務経	験			
学生へのメッ セージ (150文字程度)	1年次の復習が基本となるので理解できなかった部分を質問し、理解するようにしてください。									
教科書	書名	航空工学講			- +++ ->-		航空工学記	構座10 航空	空電子・電気	装備
	書名	航空工学請		電子・電機の	か 基礎	書名				
参考書	書名	電子装備品				書名				
<i>≫</i> 7 目	書名	電子装備品	品等 I B サフ	ブテキスト		書名				

授業	計画 (各回ごとの)	項目と内容について)
回=90分	項目	内容
1		1. 計器一般2. 空盒計器
2		2. 空盒計器
3	1. 航空計器	3. ジャイロ計器
4	1. 机全百奋	4. 圧力計器5. 温度計器
5		6. 磁気計器
6		7. 集合計器8. 統合電子計器
7		1. アンテナと電波伝搬2. 通信システム
8		3. 航法システム(1)ADF(2)VOR(3)DME
9		(4)ILS(5)ATCトランスポンダ
10	2. 航空電子装備	(6) 気象レーダー (7) 電波高度計 (8) TCAS
11		4、記録装置 5. 警報システム 6. ELT
12		7. 自動操縦装置
13		7. 自動操縦装置
14		1. 電気・電子の基礎(1)静電気
15		(2)電圧、電流、抵抗
16		(2) 電圧、電流、抵抗
17		(2) 電圧、電流、抵抗(3) 磁気
18		(4)交流回路
19	3. 航空電気	(5)電子部品•回路
20		2. 航空電気装備(1)電気配線(2)電気部品
21		(3) バッテリ
22		(3) バッテリ
23		(4)発電機
24		(5) 電動機
25		(6) 電源系統(7) 電気系統コントロール

科 目	<u> </u>	専門科目											
学科•	コース名	航空	整備科	二等航空	整備士コース	ス(飛行機	タービン	事攻)	開講時期	2年次	通年		
授業	科目名	- 2	基本実習 [I	担当教員名		明石	健一 •	基本実習	グループ			
授業	美形態	実習 授業時数 150			単位数		3	選択必修区分		必修			
	概要 ・テーマ等) :字程度)			しだ、航空整備に関する基本技術の知識・技能について深度を高め、3年次に2等航空整備士を取 ベベルアップを行う。									
到達 (150文	目標(字程度)			を備士(飛行機)の資格取得に必要な基礎知識を習得する。									
		定其	引試験				その他	の評価方法					
評価	五方法	筆記試願 100%	レポート					なし					
教員実	ミ務経験	航空運送	事業におい	て航空機整	揺備の実務経	圣験							
学生。	へのメッ		安全に対す	- る配慮や-	一つひとつの	の作業を研	在実に行い	、また、工具	具類の整理・	整頓を心掛け	ナてくださ		
セージ			を持って受講 見を持ち、説				とる習慣を	つけてくださ	٧٧°				
数	科書	書名	航空機の基	本技術			書名						
437	们官	書名					書名						
参	考書	書名	航空機の基				書名						
		書名	航空機整備		(AC43.13-1	B/2A)	書名						
授業			項目と内容は	こついて)									
回=90分	項	[目											
1 2	1. 作図知	識	1. 作図一般										
3	0 4 776		1. 曲げ作業に		項								
5	2. 成形法		2. アングル製作 (1)展開長の計算 (2)ケガキ (3)切断及び板曲げ (4)検査										
7	まとめ		進捗度確認	No1									
8 ~ 17	3. リベット		1. ソリッド・シャ	マンク・リベットの	の除去作業 2	. リベッティン	/グ及びリム・	一ブ作業					
18	まとめ		進捗度確認	No2									
19			1. 準拠すべき		2. 航空機構造		3. 損傷部	部の処置の仕力	ĵ				
20			4. 構造修理の		5. リベットの選								
21			6. 修理に必要なリベット数の求め方7. リベット配置										
23			8. その他の注意事項										
24	4. 構造修	理	9. オーバー(,	八角) パッチの)修理								
$25 \sim 34$				ポンチング(よる穴あけ	(3)端面仕上に	f				
35			11. フラッシュ	・パッチの修理	里法								
36			12. スプライス	修理法									
37	まとめ		進捗度確認										
38	まとめ		進捗度確認										
39 40			1. チューブ製 2. 中圧ホース										
41 ~	5. ホース・	チューブ	3. チューブ・フ		 !作								
44	ナレル		`#+++										
45	まとめ		進捗度確認	Nob									

回=90分	項目	内容
46		1. 航空機用電線
47	6. 電気工作	2. 航空機の電気配線方法
48		3. 接地とボンディング
49 ~ 51	6. 電気工作	4. 電線作業 (1)ワイヤ・ストリッピング (2)はんだ付け (3)銅ターミナル及び銅線の接合方法 (4)スプライスのクリンピング・AMPスプライスのクリンピング (5)コネクター ハンド・クリンピング・ツールによるコンタクトのクリンピング
52 53	0. 25/(12)	6. 電気配線作業(1)ワイヤ・ストリッピング(2)AMPターミナル・スプライス作業(3)電線の支持及び結束(4)はんだ付け(5)コネクターの組立て
54	まとめ	進捗度確認 No6
55		1. 浸透探傷検査 2. 磁粉探傷検査 3. 超音波探傷検査 4. 渦流探傷検査 5. 放射線透過検査
56 57	7. 非破壊検査	6. 非破壞検査作業
58 ~ 61	8. 総合	 機械計測 ダイヤル・ゲージ シリンダ・ゲージ シリンダ測定
62 ~ 73		2. 総合実技 (1)機械計測 (2)電気計測 (3)ケーブル作業 (4)締結作業 (5)リベット作業
74	まとめ	進捗度確認 No7
75	まとめ	進捗度確認 No8

学科・コース名	航空	整備科	二等航空團	整備士コーン	又(飛行機)	タービン専	厚攻)	開講時期	2年次	通年
授業科目名	機体実習 I			担当教員名	風	岡 輝領	感 • 林	勇輝 飛	行機グルー	ープ
授業形態	実習	授業時数	248	単位数	(3	選択必修区分		必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)		フト式A36型 ナ式310型				及び故障	探求要領に	ついて学る	ら。一部のシ	ステムにつ
到達目標 (150文字程度)	二等航空團	整備士(飛行	・機)の資格	取得に必要	薬な航空機			する。		
	, -, , ,	試験				その他	の評価方法			
評価方法	事記試験 100%	レポート					なし			
教員実務経験	エアライン	こおけ航空	幾整備の実	務経験						
学生へのメッ セージ (150文字程度)	機体実習の基本は原理・原則である。1年次の復讐をした上で授業にのぞみ、受講中は何事にも疑問をもつよう心がけてください。							問をもつよ		
教科書	書名	A36トレーニ	ニングガイド			書名	航空工学記	講座2 飛行	「機構造	
(教育音)	書名	航空工学請	榡座1 航空	力学		書名	航空工学記	講座3 航空	E機システム	
参考書	書名	ビーチクラス	フト・メンテフ	トンス・マニュ	ュアル	書名				
少行百	書名					書名				

X X	計画 (各回ごと)	の項目と内容について)
=90分	項目	内容
1		1. 機体構造の概要 (1) 概要 (2) 一次・二次構造及び非構造
2		(3)胴体及びドア構造 (4)ウィンド及びウィンド・シールド (5)非常脱出口
3		(6) 主翼構造
4		\(\frac{1}{2}\)
5		(7)尾部構造 (8)機体の材質
6	1. 機体構造	3. 翼の取外し、取付け方法 (1)主翼
7		3. 翼の取外し、取付け方法(2)尾翼
8		2. (1)ドアの開閉及びロック機構(2)窓及び非常脱出口の点検・サービスの機能及び作動
9		
10		3. 翼の取外し、取付け方法(3)主翼取付け部のリトルク(4)ドアの作動点検及び取外し、取付け
11		(=\ \L, \psi \L_m _\
12		(5)故障探求
13		1. 操縦室、客室の概要及び構成
14 15	2. 客室系統	2. 主要部品の取付け位置
16		3. 主要部品の交換及び整備・検査 (1)シート、シート・ベルトの取外し、取付け (2)非常用装備品の整備・検査
17	まとめ	進捗度確認(2時数) No1
18		1. 空気調和系統の概要、装備目的及び構成
19		2. 主要部品の取付け位置(1)シュラウド・ヒーティング・システム(2)ベンチレーティング・システム
) ~ 22		3. シュラウド・ヒーティング・システムの(1)概要(2)主要部品の機能及び系統の作動と操作
25	3. 空気調和系統	4. コンバッション・ヒーティング・システムの(1)概要(2)主要部品の機能及び系統の作動と操作
5 ~ 28		5. ベンチレーティング・システム (1) 概要 (2) 主要部品の機能及び系統の作動と操作
) ~ 31		6. 与圧制御システム (1) 概要 (2) 主要部品の機能及び系統の作動と操作
32		(4) 故障探求
33	まとめ	進捗度確認(2時数) No2

回=90分	項目	内容
34	7.5	1. (1)プライマリおよび(2)セカンダリ・フライト・コントロールの概要と目的(3)主要部品の取付位置
35		2. (1)コントロール・コラムの機能及び作動
36		(2)エルロン・システムの機能及び作動
37	1	(2) エルロン・システムの機能及び作動 (3) エルロン・トリム・システムの機能及び作動
38	1	(4)ラダー・システムの機能及び作動
39		(5)エレベータ・システムの機能及び作動
40		(6)エレベータ・トリム・システムの機能及び作動
41		(7)フラップ・システム a. フラップ・システム b. 指示系統の機能及び作動
42		(ロノフソフ・ンハノム a. ノフソフ・マハノム D. 1日小示机の検配及UTF期
43	4. 操縦系統	(8) 固定タブ (9) ストール・ワーニング・システムの機能及び作動
44		3. (1)コントロール・コラムの交換及び整備・検査要領
45		(2)エルロン・システムの交換及び整備・検査要領
46		(3)エルロン・トリム・システムの交換及び整備・検査要領
47		(4) ラダー・システムの交換及び整備・検査要領
48		(5)エレベータ・システムの交換及び整備・検査要領
49		(6)エレベータ・トリム・システムの交換及び整備・検査要領
50		(7)フラップ・システムの交換及び整備・検査要領
$51 \sim 60$		4. (1) エルロン(2) ラダー(3) エレベータ(4) フラップの交換 (5) フライト・コントロールの作動試験
61	まとめ	進捗度確認(2時数) No3
62		1. 燃料系統の概要、目的及び構成
63		2. 主要部品の取付け位置
64		3. (1)フューエル・フィード・システムの機能及び作動
65		(0)
66 67	5. 燃料系統	(2)フューエル・リターン・システムの機能及び作動 (3)フューエル・ベント・システムの機能及び作動
68		(3) / ユーエル・ヘント・システムの機能及び行動
69		(4)フューエル・クオンティティ・インディケーション・システムの機能及び作動
70		(5)フューエル・クロス・フィード・システムの機能及び作動
71		4. 主要部品の交換及び整備・検査方法5. 燃料タンクの修理要領
72	まとめ	進捗度確認(2時数) No4
73		1. (1) 翼防除氷システムの概要、目的及び構成
74		(2)プロペラ防除氷システムの概要、目的及び構成
75		(3)ストール・ワーニング・センサ防除氷システム(4)ピトー防除氷システムの概要、目的及び構成
76	6. 防除氷系統	(5)インレット・ヒーター・システムの概要、目的及び構成 (6)主要部品の取付け位置
77		2. (1) 翼防除氷システムの構成、機能及び作動 (2) ペップ・マップ・アンステムの構成、機能及び作動 (2) ペップ・マップ・アンステムの構成、機能及び作動 (2) ペップ・マップ・アンステムの構造 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)
78		(2)プロペラ防除氷システムの構成、機能及び作動
79	-	3. 主要部品の交換、整備・検査及び作動試験
80	まとめ	4. 故障探求
81 82	~CV/	進捗度確認(2時数) No5 1. (1) 前脚、 主脚、 脚扉 (2) リトラクション・システムの 概要、 目的及び 構成
83		(3)ホイール及びタイヤ(4)ブレーキ・システム(5)ステアリング・システムの概要、目的及び構成
84	1	(6)指示系統及びウォーニング・システムの概要、目的及び構成
85	1	(7)主要部品の取付け位置の概要、目的及び構成
86	7 美肚丛四天丛	2. (1)前脚、主脚(2)リトラクション・システム a. 動力源とリンク機構 b. 電気回路の機能及び作動
87	7. 着陸装置系統	(2)リトラクション・システム a. 動力源とリンク機構 b. 電気回路の機能及び作動
88	1	(2)リトラクション・システム c. 非常脚下げ機構の機能及び作動
89		(3)ホイール及びタイヤ (4)ブレーキ・システムの機能及び作動
90		(5)ステアリング・システム (6)シミー・ダンパの機能及び作動
91		(7)指示系統及びウォーニング・システムの機能及び作動
$92 \sim 95$		3. 主要部品の交換及び整備・検査要領
96 ~ 111	7. 着陸装置系統	4. (1) 前脚、主脚、脚扉の取外し、取付け作業(7)シミー・ダンパの取外し、取付けの実技作業
	まとめ	進捗度確認(2時数) No6
113	8. 油圧系統	1. 主要部品の構成、機能及び作動(Hyd Power Supply)
115		1. 酸素系統 (1)概要、目的 (2)構成、機能及び作動
116	1	(3)主要部品の取付け位置
-	9. 酸素系統	2. 酸素系統主要部品の機能及び系統の作動と操作
118	1	3. 主要部品の整備・検査方法 (1)必要酸素量の決定 (2)整備と作業安全 (3)サービシング
119	1	(4)酸素系統のサービシングのデモンストレーション
-	•	-

回=90分	項目	内容
120	まとめ	進捗度確認(2時数) No7
121	10. レビュー(No1)	1. 機体実習全般レビュー
122	10. レビュー(No2)	1. 機体実習全般レビュー
123	10. レビュー(No3)	1. 機体実習全般レビュー
124	10. レビュー(No4)	1. 機体実習全般レビュー

村 日 区 万	守门作日									
学科・コース名	航空團	整備科	二等航空團	整備 士コーン	く(飛行機タ	ービン専	[攻]	開講時期	2年次	通年
授業科目名	発	動機実習	I	担当教員名		植村	莊太 ·	飛行機グ	ループ	
授業形態	実習	授業時数	188	単位数	4		選択必修区分		必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)		を備士(飛行 システムに・			能を習得する	るため、	アリソン250	−B17F2エン	ノジンを主体	本に構造、
到達目標 (150文字程度)	二等航空團	隆備士(飛行	・機)の資格	取得に必要	な航空機取	扱いの	知識を習得	する。		
	, -, , ,	試験				その他の	の評価方法			
評価方法	筆記試験 100%	レポート				;	なし			
教員実務経験										
学生へのメッ セージ (150文字程度)	安全作業に守ってくだ。		ださい。1年	三次の教育を	こ、実機にて	確認して	てください。か	乍業品質向上	このためのつ	マナーを
教科書	書名	A36トレーニ				書名	航空工学詞	構座7 ターヒ	:ン・エンジ	ン
1 ATTE	書名	航空工学請	≰座6 プロ	ペラ		書名				
参考書	書名	ロールスロ	イス・マニュ	アル		書名				
少 与音	書名					書名				

授業	計画 (各回ごとの)	
回=90分	I	内容
1	2111	1. ターボプロップ・エンジンの概要
2		2. ターボプロップ・エンジンの技術用語
3		3. ターボプロップ・エンジンの基礎 4. ターボプロップ・エンジンの概要
4	1. タービン発動機主	5. ターボプロップ・エンジンの主要諸元
5 6	要諸元	6. ターボプロップ・エンジンの構成
7		
8		9. アクセサリの概要 10. 空気の流れと燃焼
9		1. コンプレッサの概要 2. (1)フロントサポート・アセンブリの主要部品の構成、構造及び機能
10	2. コンプレッサ・アセン	2. (2)コンプレッサ・ロータ・アセンブリの主要部品の構成、構造及び機能
11	ブリ	2. (3)コンプレッサ・ケース・アセンブリの主要部品の構成、構造及び機能
12		2. (4)コンプレッサ・ディフューザ(5)ベアリングの支持(6)ラビリンス・シールの構造及び機能
13	9 コンバッジィン・マヤ	1. コンバッション・アセンブリの概要 2. (1)ディスチャージ・エア・チューブの構造及び機能
14	3. コンバッション・アセ ンブリ	2. (2)コンバッション・アウタケースの主要部品の構成、構造及び機能
15		2. (3)コンバッション・ライナ(4)ドレン・バルブ(5)ファイヤ・ウォールの構成、構造及び機能
16	まとめ	進捗度確認(2時数) No1
17		1. タービン・アセンブリの概要
18		
19		 2. (1)ガスプロデューサ・タービン・アセンブリの主要部品の構成、構造及び機能
20	4. タービン・アセンブリ	
21		
22		
23		2. (2)パワー・タービン・アセンブリの主要部品の構成、構造及び機能
24		
25		2. (3) エキゾースト・コレクタ・サポートの主要部品の構成、構造及び機能
26		2. (4)ファイヤ・シールド(5)タービンの冷却とバランス・エアの主要部品の構成、構造及び機能

回=90分	項目	内容					
27	F ギマギ カッ マ.Lv /	1. ギアボックスの概要					
$28 \sim 30$	5. ギアボックス・アセン ブリ	2. (1)ガスプロデューサ・タービン・ギア・トレーンの主要部品の構成、構造及び機能					
31 32	5. ギアボックス・アセン ブリ	. (2)パワー・タービン・ギア・トレーンの主要部品の構成、構造及び機能					
	6. リダクション・ギヤ ボックス・アセンブリ	1. リダクション・ギヤボックスの概要					
34	まとめ	進捗度確認(2時数) No2					
35		1. リバース・ピッチ・プロペラ (1)装備目的、名称及び型式 (2)構造の概要					
36		1. リバース・ピッチ・プロペラ (3)a. プロペラの主要部品の構成、機能及び作動					
37	7. プロペラ	1. リバース・ピッチ・プロペラ (3)b. ガバナの主要部品の構成、機能及び作動					
38		1. リバース・ピッチ・プロペラ (3) c. コントロールの主要部品の構成、機能及び作動					
39		2. シンクロ・システムの概要と作動					
40	まとめ	進捗度確認(2時数) No3					
41		1. N1タコメーターの概要と作動					
42		2. NPタコメーターの概要と作動					
43		3. オイル圧力計4. オイル温度計の概要と作動					
44	ステム	5. TOT計の概要と作動					
45		6. トルク計の概要と作動					
46		7. 燃料流量計の概要と作動					
	9. 燃料系統	1. フューエル・システムの概要2. (1)フューエル・ポンプ・アセンブリの構成、構造及び機能					
48	2.2.3	2. (2)フューエル・ノズル・アセンブリの主要部品の構成、構造及び機能					
49	まとめ	進捗度確認(2時数) No4					
50		1. フューエル・コントロールの概要					
51							
52		2. (1)GPFCの主要部品の構成、構造及び機能					
53							
54		2. (2)プロペラ・パワー・タービン・ガバナの主要部品の構成、構造及び機能					
55 E6	10. 燃料コントロール						
56 57	10. 然料コントロ・ル	2. (3)オーバ・スピード部の主要部品の構成、構造及び機能					
58							
59		2. (4)フューエル・コントロールの主要部品の構成、構造及び機能、作動					
60		The state of the s					
61		2. (5)ガバナーの主要部品の構成、構造及び機能、関係					
63	まとめ	進捗度確認(2時数) No5					
64	11. 点火系統	1. イグニッション・システムの概要 2. 主要部品の構成、構造及び機能					
65		1. エンジン・コントロールの概要 2. 主要部品の構成、構造及び機能					
66	12. エンジン・コント ロール	2. (1)GPFCコントロール(2)プロペラ・パワー・タービン・ガバナ・コントロールの、構造及び機能					
67		2. (3)コーディネーターの主要部品の構成、構造及び機能					
68		1. エンジン・オイル・システムの概要					
69		2. (1)エンジン・オイル・タンクの主要部品の構成、構造及び機能					
70		2. (2)エンジン・オイル・クーラ主要部品の構成、構造及び機能					
71		2. (3)オイル・スカベンジ・フィルタの主要部品の構成、構造及び機能					
72	13. 潤滑系統	2. (4)オイル・ポンプの主要部品の構成、構造及び機能					
73		2. (5)オイル・フィルタ主要部品の構成、構造及び機能					
74		2. (0) // 1/で / 1/で / 上女中中ロマハけがん 1 けんと /人 U 1					
75		2. (6)トルク・メータ主要部品の構成、構造及び機能					
76							
77	まとめ	進捗度確認(2時数) No6					
78	14. パワープラント	1. パワープラントの概要					
79	- / - 1	2. (1)エンジン・マウント (2)ファイア・ウォールの主要部品の構成、構造及び機能					
80	15. 防除氷系統	1. 防除氷系統の概要 2. 主要部品の取付け位置					
81		3. (1)アンチ・アイシング・システムの主要部品の構成、構造及び機能					
82	まとめ	進捗度確認(2時数) No7					

回=90分	項目	内容
83		1. 空気圧系統の概要2. 主要部品の取付け位置
84	16. 空気圧系統	3. (1)コンプレッサ・ブリード・システムの主要部品の構成、構造及び機能
85	まとめ	進捗度確認(2時数) No8
86	レビュー(No1)	
87	レビュー(No2)	
88	レビュー(No3)	
89	レビュー(No4)	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
90		1. タービンエンジン全般レビュー 技能審査に合格するために2年次の学習内容について復習を行う。
91	レビュー(No6)	ALL LINE OF THE PROPERTY OF TH
92	レビュー(No7)	
93	レビュー(No8)	
94	レビュー(No9)	

学科・コース名	航空	整備科	二等航空團	二等航空整備士コース(飛行機タービン専攻)			開講時期	2年次	通年	
授業科目名	装	備品実習	Ι	担当教員名		重信	志郎 •	飛行機ク	ブループ	
授業形態	実習	授業時数	160	単位数		4	選択必修区分		必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	ビーチクラフト式A36型機及びセスナ式310型機の各電気・電子装備の主要部品の構成、機能及び作動等について学ぶ。								作動等に	
到達目標 (150文字程度)	二等航空整備士(飛行機)の資格取得に必要な航空機取扱いの知識を習得する。									
	7-77	試験				その他の	の評価方法			
評価方法	筆記試験 レポート 100% なし									
教員実務経験										
学生へのメッ セージ (150文字程度)	1年次の復習をした上で授業にのぞみ、受講中は何事にも疑問をもつよう心がけること。									
教科書	書名	A36トレーニ	ニングガイド			書名	航空工学詞	構座9 航空	電子・電気(の基礎
秋/T音	書名	航空工学請	摩8 航空	計器		書名	航空工学記	構座10 航 驾	で電子・電気	装備
参考書	書名	ビーチクラス	フト・メンテフ	ナンス・マニ	ュアル	書名				
少つ百	書名					書名				

授業	計画 (久同ごしの	の項目と内容について)
回=90分		内容
1	78.1	1. 自動操縦装置系統の概要、目的及び主要部品の構成
2		1. 自動操縦装置系統の概要、目的及び主要部品の構成 2. 主要部品の取付位置
3		3. (1)フライト・ディレクタ (2)オート・パイロット
4	1. 自動操縦系統	0. (1)2 2 11 7 4 V 2) (2) A 1 7 V 1 P 2 1
5	1	(1)フライト・ディレクタ (2)オート・パイロットの機能及び作動
6	1	(2)オート・パイロットの機能及び作動 (3)指示系統及びウォーニング・システムの機能及び作動
7		1. (1) VHF通信システム (2) 機内通信システムの概要、目的及び主要部品の構成
8	2. 通信系統	2. 通信系統の主要部品の取付け位置
9		3. (1) VHF通信システム (2) 機内通信システムの機能及び作動
10	まとめ	進捗度確認(2時数) No1
11		1. 電源系統の概要、目的及び主要部品の構成
12		1. 電源系統の概要、目的及び主要部品の構成 2. 電源の優先順位
13		3. 電源系統の主要部品の取付け位置
14		
15		4. 電源系統の主要部品の機能及び作動 (1)DC電源回路の概要と作動
16		(2) 主要部品 a. バッテリ b. バッテリ・スイッチの概要と作動
17		c. バッテリ・リレー d. バス・バーの該当と作動
18		e. スタータ・ジェネレータ f. ボルテージ・レギュレータの概要と作動
19	3. 電源系統	g. サーキット・ブレーカー h. リバース・カレント・リレーの概要と作動
20		i. ボルト・メータ j. ロード・メータの概要と作動
21		k. オーバー・ボルテージ・システム 1. ロー・ボルテージ・システムの概要と作動
22		m. 外部電源の概要と作動
23		(3) AC電源系統の概要と作動
24 25		5. 並列電源系統の概要、目的及び主要部品の構成 (1)回路図の見方
26~29		6、電源系統の主要部品の検査及び交換 (1)バッテリの点検整備の実技作業
30		(3) 電圧調整要領の概要

回=90分	項目	内容
01 - 00		(4) 交替機の毎円細動の事件が坐
31~33	3. 電源系統	(3)発電機の電圧調整の実技作業
34	3. 电协约 / NL	(4) 電源系統に関わる故障探求
35		(注) 电你不例に因2/3以序1不不
36	まとめ	進捗度確認(2時数) No2
37		1. (1)計器板 (2)飛行計器、航法計器などの概要、目的及び主要部品の構成
38		(3)グレア・シールドの概要、目的及び主要部品の構成
39		(4) 計器系統の主要部品の取付け位置
40		2. (1)ピトー・スタティック系統の主要部品の機能及び作動
41		(2) a. 高度計 b. 速度計 c. 昇降計の主要部品の機能及び作動
42		(2) d. ピトー・チューブe. スタティック及びエマージェンシ・スタティック・ポートのの機能及び作動
43		(3)ピトー・スタティック系統の主要部品の取付け位置
44		3. (1) プレッシャ系統の主要部品の機能及び作動 (2) a. 定針儀 b. 水平儀 c. ターン・コーディネータの概要、目的及び主要部品
45 46	4. 計器系統	(2) a. たず暖 D. 小平暖 C. ターン・コーティイータの概要、目的及び主要部品 d. プレッシャ・ポンプ e. プレッシャ・レギュレータ f. フィルタの概要、目的及び主要部品
47		(3)プレッシャ系統の主要部品の取付け位置
48		4. その他計器 (1) 磁気コンパス (2) リモート・コンパス概要、目的及び主要部品
49		(3) 外気温度計、時計(4)コーション・アンド・アナンシエータ・パネルの概要、目的
50		5. (1)ピトー・スタティック系統の主要部品の検査及び交換、クリーニングの実技作業
51		5. (2)ピトー・スタティック系統リーク・テストの実技作業
52 ~		(2)プレッシャ系統の圧力調整の実技作業
55 56		(4)計器系統に関わる故障探求
57		1. (1)外部照明 (2)内部照明の概要、目的及び主要部品の構成
58	= 177 HD - 7 (+)	2. 照明系統の主要部品の取付け位置
59	5. 照明系統	3. 照明系統の機能及び作動
60		4. 主要部品の検査及び交換の実技作業
61	まとめ	進捗度確認(2時数) No3
62		1. (1) RMI (2) HSIの概要、目的及び主要部品の構成
63		(3) DME (4) ATCトランスポンダの概要、目的及び主要部品の構成
64		(5)ILS等の概要、目的及び主要部品の構成
65		(6) ELT (7)アンテナの概要、目的及び主要部品の構成
66		2. 航法系統の主要部品の取付け位置
67		
68 69	6. 航法系統	3. (1)RMI (2)HSIの機能、作動及び操作
70		(3) DME (4) ATCトランスポンダの機能、作動及び操作
71 72		(5) ILS等の機能、作動及び操作
73		(6)ELTの機能、作動及び操作
74		
75		4. (1) 航法装置作動試験の実技作業
76	まとめ	進捗度確認(2時数) No4
	7. レビュー No1	
	7. レビュー No2	1. 装備品実習全般レビュー
	7. レビュー No3	技能審査に合格するために2年次の学習内容について復習を行う。
80	7. レビュー No4	

一件日区分										
学科・コース名	航空	整備科	二等航空團	・ 航空整備士コース(飛行機タービン専攻)			[攻]	開講時期	2年次	通年
授業科目名	航空機の取扱		空機の取扱い I 担当教員名			平田	和裕•	飛行機グ	゛ループ	
授業形態	実習	授業時数	138	単位数	ć	3	選択必修区分		必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)		フト式A36型 要領につい		取扱い方法	、日常点検	、試運転	、法定検査	及び航空機	の安全管理	1、航空機
到達目標 (150文字程度)	二等航空	整備士(飛行	「機)の資格	が取得に必要	要な航空機	取扱いの	知識を習得	計する。		
	7-77	試験				その他の	の評価方法			
評価方法	筆記試験 レポート 100%					なし				
教員実務経験	エアラインにおけ航空機整備の実務経験									
学生へのメッ セージ (150文字程度)	航空機の取扱い安全の心得を守ること。各実習を通してその内容について理解した上で授業にのぞみ、 て何事にも疑問を持つように心がけてください。					ごみ、努め				
教科書	書名書名	A36トレーニ	ニングガイド			書名				
4) ** **	書名	航空機検査	企業務サー	キュラー集		書名	航空機の	基本技術		
参考書	書名	航空整備化				書名				

=90分	項目	内容
· ~		1. 全長、全幅、全高、上反角等(2)ステーション・ナンバーの基準点及び表示方法 a. ボディー・ステーション b. ウイング・ステーション c. ウォーター・ライン d. バトック・ライン e. センター・ラインの概要と位置
4 5		2. ジャッキ・アップの(1)ジャッキ・ポイントの位置、(2)ジャッキの容量、(3)作業要領
6 7		(4)ジャッキ・アップ作業の実技作業
8		3. (1)レベリング・ポイントの位置 (2)レベリング作業要領
9		(3)レベリング作業の実技作業
11	1. 取扱い	4. (1)トーイングの方法(2)注意事項
12 13		(3)トーイング作業の実技作業
14		5. 駐機 (1)駐機の作業要領
15 16		(2) 駐機作業の実技作業
17		6. (1)給油 (2)エンジン・オイル. 作動油 (3)滑油、グリースのサービシング要領
18		(4) その他のサービス要領
$9 \sim 24$		(5)機体へのサービシングの実技作業
25	まとめ	進捗度確認(2時数) No1
26	2. 業務範囲	1. 技能証明に限定される航空機の等級に関する事項
27	4. 木物电四	2. 系列型機に関する事項 3. 航空機検査業務に関する事項
28		1. Airworthiness Limitationの(1)目的 (2)記載事項 2. 整備方式 (1)AMMに定める整備方式
	3. 整備の方法	2. 整備方式における(1)AMMに定める整備方式(2)社内規定(3)エンジンの整備方式 3. 整備の段階(1)運航整備
30		(2) 定期整備に関する事項(3) 特別点検 4. 運用許容基準の(1) 条件、措置及び(2) 出発の決定

回=90分	項目	内容
32		1. 飛行規程(1)飛行規程の整備に関する事項
33 ~ 35		(1)飛行規程の整備に関する事項(2)整備に関する限界事項の内容(6)飛行に必要な燃料及び滑油
36	4. 飛行規程	(7)エンジンの性能の確認方法
37 ~ 39	14. /16/17/元/土	重量重心における(3)規定される重量の種類(4)重量分布限界(5)重量・重心位置の算出方法
40		(7)性能の確認方法
41		2. (1)追加飛行規程の整備に関する事項
42	まとめ	進捗度確認(2時数) No3
43		1. 日常点検(1)点検の整備上の分類、目的及び作業
44 ~ 46	5. 点検作業	(1) 点検の整備上の分類、目的及び作業のデモンストレーション
47 ~ 56		(2)日常点検の準備及び作業について実技作業
57		(3) 異常個所発見時の処理要領(4) 点検終了時の処置
58	まとめ	進捗度確認(2時数) No4
59	6. レビュー No1	ALEDVA OT IT. A ATLANS
60	6. レビュー No2	1. 航空機の取扱い全般レビュー 技能審査に合格するために2年次の学習内容について復習を行う。
61	6. レビュー No3	Давал-1п / 6/6/2/ 1 9/2 1 11 / 1 (
62 ~ 65	飛行前点検	飛行前点検(1回目)
66 ~ 69	7形11 时总使	飛行前点檢(2回目)